

医科点数表第10部の区分番号（Kコード）に対応する

手術基幹コード（STEM7）について

- 診療行為の請求コードのうち、医科点数表第10部の区分番号（Kコード）については、診療報酬改定毎に、様々な追加等を行い対応してきたが、手術手技を分類するものとして十分に体系化されていないことから、イノベーションの進展に伴い手術の多様化・高度化等が進む中で、一定の限界が指摘されている。
- 一方、臨床的な観点から体系的に整理されている手術手技の分類として、外科系学会社会保険委員会連合（外保連）が作成する手術基幹コード（STEM7）が存在する。
- こうしたことを踏まえ、平成30年度診療報酬改定において、Kコードの再編の基礎データとするため、DPCデータにSTEM7を入力することとした。
- Kコードに対応するSTEM7については、概ね別表の通りであるので、参考としてお示しする。なお、1つのKコードに対して複数のSTEM7が対応し得る場合には、別表中の「STEM7を細分化する時の注意点」も参考にしながら入力していただきたい。
- 別表については、暫定的に整理したものであること、診療報酬の算定の根拠として用いることが出来るものではないことに、ご留意頂きたい。

＜参考1：KコードとSTEM7の例＞

（平成29年9月27日 中央社会保険医療協議会 総会 総-3（抄・改））

Kコードの体系	STEM7の体系
KOOO（K+3桁数字、一部枝番有り）	<u>OOO</u> <u>OO</u> <u>OO</u> （7桁英数字）
1 ※	操作部位
2 ※	新基本操作
..	アプローチ方法
（※ Kコードの内訳として、部位や手術の詳細等で細分類があるが一定のルールはない）	アプローチ補助器械

＜参考2：STEM7の概要、STEM7に関するQA及び修正並びに注意点等＞

一般社団法人 外科系学会社会保険委員会連合ホームページに掲載。

<http://www.gaihoren.jp/gaihoren/public/info/info-180420.html>

【問い合わせ】

＜制度に関すること＞

厚生労働省ホームページ「診療報酬に関するお問い合わせ先について」参照

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00045.html

＜STEM7及び別表に関すること＞

一般社団法人 外科系学会社会保険委員会連合

メール：office@gaihoren.jp